

道徳教育研究会

『図解モラロジー概論』出版記念研究会

令和5年(2023)10月4日(水)に研修館201教室で『図解モラロジー概論』出版記念研究会を開催しました。この研究会は、『図解』の要点理解と新たな学習のあり方を提示することを目的とし、本書の効果的な活用法と普及を目指しました。

14時から江島氏の開会挨拶と趣旨説明に続いて、コンテンツ開発局の富田氏は「今なぜ「図解」なのか」というテーマで、図解の販売状況や成果、本書に込めた期待について、現代におけるその必要性に焦点を当てて報告しました。宮下氏は「『図解モラロジー入門』を振り返って」と題して、図解シリーズの開始経緯や、読者一人ひとりの手によるオリジナルの図解作成の推奨について論じました。望月氏は「図解 モラロジー概論—執筆と冊子化に携わって」として、執筆過程での苦労や戸惑い、読者からの反響やニーズの高さについて報告しました。木下は「イラストで描く道徳実践のダイナミズム」をテーマに、イラストを通じた道徳教育の実践的な側面を中心に解説しました。最後に、江島氏は「モラロジーの見える化」をテーマに、モラロジーの可視化の重要性を強調しました。

多角的な視点からの様々な質疑への応答セッションを経て、江島氏の閉会挨拶で研究会は16時30分に終了しました。本イベントはモラロジーの理解を深め、『図解モラロジー概論』の活用を促進する契機となりました。

(文責:道徳教育推進プロジェクト サブリーダー 木下 城康)